



定例会の議案審議、一般質問などの詳細は、上記のQRコードから映像でご覧いただけます。

8月号

# ふじいでら 市議会だより

編集・発行／藤井寺市議会  
☎939・1208

令和4年第1回臨時会の  
あらまし

令和4年第1回臨時会は5月18日に開催され、議会構成の改選をはじめ（6月号掲載）、報告案件、人事案件など市長提出議案について、本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決しました。

令和4年第2回定例会の  
あらまし

令和4年第2回定例会は6月7日から28日までの22日間の会期で開催され、令和4年度の補正予算、報告案件、条例制定及び一部改正、人事案件などについて、委員会・本会議を通じて慎重に審議を行い、すべての案件を議決して閉会しました。

国に意見書を提出

次の意見書を全会一致で採択し、関係機関に善処を求めました。

◎環境教育の推進及びカーボンニュートラル達成に向けた学校施設のZEB化のさらなる推進を求める意見書

# 一般質問



大阪維新の会  
代表質問  
生田 達也

## 1 観光政策について

### (1) 魅力発信について

**質問** 本市の今後を見据えた観光形態の分析、展開を伺います。

**答弁** ウイズコロナ観光として世界文化遺産や神社仏閣が点在するロケーションをいかしマイクツーリズムを推進します。

**質問** 取り組みを伺います。

**答弁** 連携協定を締結した凸版印刷(株)と観光DXの実証実験を行い、全日本空輸ともコラボ企画を現在実施しています。

**質問** 道明寺エリアを伺います。

**答弁** 道明寺歴史まつりを3年ぶりに開催しました。駅前、天満宮前道路など歴史美観向上の整備、案内サインの整備、座って憩える場の整備を進めます。

**質問** 藤井寺駅前を伺います。

**答弁** ハロウィンなどの各種イベントや、駅北交流広場で市民まつりを開催する予定です。

**質問** 国、大阪府の観光需要喚起策を伺います。

**答弁** 国は県民割を支援する検討をし、大阪府は、「大阪いらっしやいキャンペーン」にて各種

クーポンを付与しています。

**要望** 市民まつりは一度止めたのを再開する以上、成功必至です。「大阪いらっしやいキャンペーン」のクーポンを使える本市の店舗は17あります。この更なる観光魅力発信を要望します。

**(2) メタバースに関する取り組みについて**

**質問** 観光、ふるさと納税、情報発信で活用する自治体もあります。本市の見解を伺います。

**答弁** 今後の動向を注視し研究いたします。

**(3) 美しいまちづくり推進条例について**

**質問** 観光客増に比例する問題です。この条例内容を伺います。

**答弁** 空き地や空き家の管理、ペットの適切な管理、落書き禁止、ゴミのポイ捨て禁止、廃棄物の投棄禁止など清潔保持や美化を推進していく条例です。

**要望** 「路上喫煙」ながらスマホの防止に向けた啓発が無いため、これを要望いたします。

**(4) 大阪・関西万博について**

**質問** 本市、各種万博協会、団体との連携について伺います。

**答弁** 万博推進局に市長が先日訪問し情報交換を行いました。最新情報入手のため(一社)夢洲新産業・都市創造機構、各地方自治体の動向を把握するため首

長連合などにも加入し、調査や連携活動をしています。

**質問** 万博に絡めた本市への来訪者誘致策を伺います。

**答弁** 万博が開催される令和7年は、西国第5番札所の葛井寺開創1300年の記念すべき年でもあり、地元商店街や観光関連団体と連携し、世界遺産古市古墳群の周遊と絡めた誘客方法を考えています。

**要望** 万博ナンバープレートのPR、空飛ぶ車の動向注視、万博キャラクター活用など、機運を醸成させるため、更なるシ

ティセールスを要望いたします。



大阪維新の会  
個人質問  
松本 洋介

## 1 学校教育改革について

**質問** 本市の公立小・中学校で低迷する学力は「子育てするな

ら藤井寺」を掲げる本市にとつて致命的で、宝である子どもたちの将来の可能性を制限する要因です。令和4年1月に中学校

1、2年生が受けたチャレンジテストの結果を教えてください。

**答弁** 1年生は、国語科60・1点(府平均62・2点)、数学科52・8点(府平均58・5点)、英語科61・7点(府平均63・5点)でした。また、2年生は、国語

科56・3点(府平均58・8点)、数学科57・0点(府平均60・1点)、理科52・4点(府平均53・1点)、社会科51・7点(府平均52・2点)、英語科54・0点(府平均58・5点)です。

**質問** 教員に対しての現状と学力の意識調査結果はどのよう

ですか。  
**答弁** 意識調査はしていません。

**質問** 令和4年度より家庭環境についての新たな取り組みは実施されていますか。

**答弁** 家庭環境へのアプローチには、福祉と教育の連携が不可欠であり、今後も関係部局と連携を進めてまいります。

**質問** 本市中学校ではSNS上で一人の生徒に誹謗中傷が書き込まれ、生徒やその保護者は内容や学校現場の対応に憤りと悲しみに包まれた案件があまり

ありません。その後、強化した対策を教えてください。

**答弁** 令和3年度から、スクリーンソーシャルワーカーとスクリーンカウンセラーの配置回数を増やし、重大事態が生じた場合のいじめ専門委員会を、第3者性を高めたメンバー構成に変更しました。

**質問** 子どもたちが相談しやすい環境づくりが重要だと考えます。いじめ、セクハラ、体罰などの心の悩みを保護者や教員を

介さずに相談できる窓口を増やすことはいかがでしょうか。

**答弁** 現在、関係課と連携し、市のオンライン窓口を活用した相談窓口を試験的に開設できないかを研究しております。

**要望** 学力については令和4年度より新たな取り組みを実施できておらず、現場教員への意識調査すら実施していない現状で危機感をもっているのか疑問です。また、結果が伴っていません。肝に銘じて結果で示してください。そして、SNSでの誹謗中傷事例は二度と発生しないよう注力してください。



大阪維新の会  
個人質問  
河井 計実

## 1 有事の際の避難について

**質問** 我が国が武力攻撃を受けた場合、市民への避難情報の伝達はどのように行われますか。

**答弁** 発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合には、全国瞬時警報システム・Jアラートを使用し、屋外スピーカーから警報が流れるほか、携帯電話にエリアメール・緊急速報メールが配信され、市民の方に情報伝達が行われます。

**質問** 情報が伝達された場合には、我々は、どのような行動を

とればよいかを教えてください。

**答弁** ミサイル着弾時の爆風や破片などの被害を避けるため、近くの建物の中か地下に避難することですが、本市域内におきまして、地下への避難は困難であるというのが実情です。

**要望** 我が市のような郊外のまちでは地下室のある建物もほぼなく命を守る避難方法はなすすべがないのが現状です。これは既に市町村の力を超えた物事ですか地下避難施設を作る場合、国へ費用や助成金を出していただくよう要望してください。

## 2 市内の空き家について

**質問** まず市内の空き家の現状について伺います。

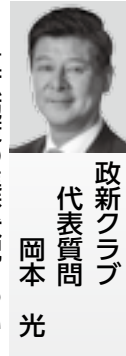
**答弁** 令和4年4月時点で774棟の空き家ですが、本市の空き家率は14・5%であり、大阪府の空き家率15・2%と比較しても低い水準で推移している状況です。

**質問** 対策として、どのような施策を実施されましたか。

**答弁** 空き家セミナーの開催、空き家所有者へのDM送付や、空き家の無料相談会の開催などを実施しました。特に効果があった内容は、空き家のリフォーム補助制度で、昨年度の補助利用者には、移住に一定程

度の効果がありました。

**要望** 本市がにぎわいを取り戻すよう、住みやすさや利便性などの魅力を発信してください。



**政新クラブ 代表質問 岡本 光**

## 1 重点施策の進捗状況について

(1) 風通しの良い市政を市民目線で実行について

**質問** 情報発信に各種媒体をどのように活用していくのかお聞かせください。

**答弁** SNSについて研究を重ね、情報発信や利便性の高いツールとなるよう活用していきたいと考えています。

**質問** 観光課のツイートが話題を呼んでいましたが、事例の庁内への紹介・情報共有についてお聞かせください。

**答弁** 観光課公式ツイターの情報発信についてプレスリリースも行いました。職員間でも話題となり、今後の取り組みの参考となりました。

(2) 子育てをするなら藤井寺と

言われるまちの実現について

**質問** 効果的なPRポイントとなる子育て・教育施策に関する事業についてお聞かせください。

**答弁** 児童扶養手当受給者への応援給付事業、新生児サポート給付金事業などを実施しました。

**質問** タブレットPCの活用は進んでいるのでしょうか。また活用推進のための今後の方針や課題についてお聞かせください。

**答弁** すべての学校でタブレットPCを活用した授業を実施し、タブレットPCの持ち帰りも日常化しました。今後、より効果的な活用のため、先進校の研究が必要と考えています。

**要望** ICT教育推進支援を行い、積極的かつ効率的に活用できる環境整備を要望し、小学生版放課後ゆめ教室の橋渡しとなる取り組み推進をお願いします。

(3) 観光資源を活かしたまちのにぎわい創出について

**質問** アンバサダー制度の概要と展望をお聞かせください。

**答弁** 本市出身またはゆかりがあり、各分野で活躍され影響力のある方をアンバサダーとして委嘱し、自身の活動の中で積極的に本市をPRしていただき、市の行事への協力をお願いするものです。本市の魅力を広く発信し、知名度の向上とイメージ

アップを図っていきたくと考えています。

**質問** 市内商工業の振興条例制定の目的と効果についてお聞かせください。

**答弁** 本市が中小企業振興に取り組んでいく姿勢を明確化し、理念や基本方針等を定めるものです。様々な主体が認識を共有することで、地域一丸となって中小企業振興につながるものと考えています。

**質問** 石川河川公園を活用したバーベキューエリアの利用実績と今後の取り組みについてお聞かせください。

**答弁** 利用者の実績は4月と5月の合計で2261人でした。秋の行楽シーズンにも開催できるように調整を図っていきたくと考えています。

**質問** 様々な企業と連携を図ってきた効果がどのように市民サービスの向上に結び付いたのかお聞かせください。

**答弁** これまでに7社と連携協定を締結しました。様々な分野での取り組みを実施し、市民サービスの向上と財政運営上の効果につながりました。

(4) 健康で生き生きと暮らせるまちづくりを推進について

**質問** 健康で生き生きと暮らせるまちづくり推進における取り

組みについてお聞かせください。

**答弁** 健康教室実施やがん検診の無料クーポン配布を実施しています。令和2年度における国保の特定健診受診率は大阪府下で2番目となりました。

**質問** ヘルスケア分野において多く活用されているPFS(成果連動型民間委託契約方式)についてお聞かせください。

**答弁** 成果連動型民間委託契約方式とは、事業を委託するにあたり成果指標を設定し、その実績により支払額等を連動させるものです。企業のノウハウを活用した創意工夫が期待され、事業内容によっては効果的、効率的な事業実施が期待できると考えています。

(5) 危機管理体制をしっかりと構築について

**質問** 本市におけるウクライナからの避難民受入体制と実績についてお聞かせください。

**答弁** ウクライナから避難してきた方の相談窓口を協働人権課内に設置しています。現時点で相談実績はありません。

**質問** 不測の事態に備えるための財政調整基金をどのように確保するのかお聞かせください。

**答弁** 行財政改革アクションプラン2020を推進することで、計画的に確保していきたく



と考えています。

**質問** 令和5年度予算編成に向けて事業の廃止や縮小は検討されているのかお聞かせください。

**答弁** 「骨格予算」となりますが、これまでの予算編成と同様の考え方を維持し、スクラップアンドビルドの視点を持ちながらメリハリある予算編成にしたいと考えています。

**質問** 各施策の進捗状況とゴールについてお聞かせください。

**答弁** マニフェストロードマップに記載しているように、70%ほどの進捗率であり、すべてを実施するよう取り組んでいます。

**質問** 市長のリーダーシップにより職員の意識や行動がどう変化したのかお聞かせください。

**答弁** 行動変化という点では結果につながっていない部分もありますが、「市民目線で実行」という意識が浸透してきていると感じています。

**要望** 進捗が思わしくないものについては、実施に結び付けていただくようお願いします。最終年度となりますので、強いリーダーシップを発揮していただくようお願いします。



日本共産党  
代表質問

木下 諤

1 子育てするなら藤井寺と言われるために

(1)子どもの貧困対策の推進について

**質問** 本市の貧困対策推進計画策定のスケジュールを伺います。

**答弁** 市内在住の小学5年生と中学2年生及びその保護者の1124世帯、合計2248人に対し7月に調査を実施します。その後、ニーズの把握、分析等を行い、庁内関係課で構成する子どもの未来応援ネットワーク会議で検討し、パブリックコメントを経て今年度末に計画を策定する予定です。

**質問** 調査票について、市独自の設問項目を教えてください。

**答弁** 新型コロナ感染症拡大に伴う保護者の就労等への影響、口腔崩壊に関連した設問、ヤングケアラーについての内容と頻度を尋ねる設問等を設けました。

**要望** 計画策定において数値目標を設定し、関係各課が協力し、全庁的に取り組んでください。  
(2)子育て世帯への経済的支援を今こそ

ア・小・中学校給食費の無償化を求める

**質問** コロナ対策に加えて物価高の状況だからこそ学校給食費の無償化を実施すべきだと考えますがいかがですか。

**答弁** 令和2年度末に新型コロナウイルス感染拡大の影響等を踏まえ、子ども笑顔サポート給付金を支給しました。低所得者の方には就学援助制度等で支援しています。現在の物価の高騰については動向を注視してまいります。

**要望** ほとんどの近隣市町村で学校給食費の無償化や補助も行っています。国の臨時交付金も活用し、せめて一定期間でも給食費無償化を実施すべきです。

イ・保育料の多子世帯減免制度の拡充を

**質問** 令和4年度、保育所に入所している0歳から2歳の5人に1人が、2人以上の兄弟がいるのに、年齢区分の条件によって本来軽減される保育料が軽減されていません。現行制度の条件を撤廃すべきではないか。

**答弁** 子育て支援の充実のために、総合的な視野に立つて今後多種々検討しながら支援を実施していきたいと考えています。

(3)保育環境のさらなる拡充について  
ア・待機見ゼロへの具体的な取

り組みについて

**質問** 市長は令和4年度に待機児童ゼロを掲げていましたが、令和4年4月時点で48人が保育所等に入所できていません。特に道明寺地区は簡易保育施設も閉鎖し低年齢児の受け皿が減少しています。道明寺地区の保育の受け皿の拡充を、令和5年度からスタートする藤井寺市立幼稚園・保育所再編実行後期計画に明記すべきではないか。

**答弁** 道明寺エリアについては、公立の第4保育所のみであるという状況は認識しており、利用定員の拡充の必要性も認識しています。後期計画において、当該地域の保育施設を拡充することは計画策定における審議・検討の中で議論していきます。

イ・正職保育士の処遇改善を求める

**質問** この間のコロナ対応で、以前にも増して激しい勤務環境になっている本市の正職保育士の給与水準は、近隣市と比べても低い状況にあります。早期に処遇改善をすべきではないか。

**答弁** 給与面においては総人件費の中での議論が必要ですが、どのような手法が効果的であるか検討しているところです。

2 事業者の経営を守るために

(1)市内事業者アンケート調査結果について

**要望** 依然としてコロナ前まで業績は戻っていません。国に必要な支援を求めるとともに市として直接支援を実施すべきです。



日本共産党  
個人質問

瀬川 寛

1 市民の目線で市政を発展させるために

**質問** ロシアがウクライナを侵略し核兵器使用の可能性が及する中、市長が令和4年3月1日に発表された抗議文に込めた思いをお聞かせください。

**答弁** 平和をめぐる国際情勢は危機的な状況となっている中、本市としては、平和首長会議会長から出された平和的解決に向けた外交努力や核兵器廃絶の重要性に関するメッセージに賛同するとともに、世界の恒久平和の実現に向けて平和事業に取り組んでまいります。

**要望** 引き続き、核共有などといった立場とは袂(とば)をきっぱりと分かち、核兵器禁止条約を広める取り組み等、市民とともに平和事業に取り組んでください。

**質問** 大阪府下の市町村で、屋内屋外を問わず、また(柏羽藤環境事業組合が運営するフリー

ンピア21のように)一部事務組合による運営かどうかを問わず、公の施設としてプール施設を持たない市町村を教えてください。

**答弁** 9市町あります。

**要望** 市長は柏羽藤環境事業組合副管理者としてクリーンピア21存廃について令和3年6月に聞きながら、10月の本市の公共施設整備検討委員会では、クリーンピア21への交通の便を良くすれば市民プール廃止も許容できるという議論がされていきました。策定過程に問題があり、また令和4年4月に入ってからクリーンピア21の存続を求める署名が5千600筆以上集められたことを考えても、今一度、クリーンピア21の存続を検討し、それが無理なら、屋外プールとしての市民プールを残すよう強く求めます。

## 組みについて

**質問** 人口減少を食い止めるためには、生産年齢人口の確保や若い世代の方々に選んでいただき定住につなげていく施策が重要だと考えますが、今後の取り組みについてお聞かせください。  
**答弁** 少子化対策、生産年齢人口の移住・定住を意識した特色ある子育てや教育施策の展開、また、交通インフラを含めた利便性を追求した都市整備を進めていく必要があると考えております。

**要望** 今後は、人口減少問題に対して、大胆な取り組みも必要で、全職員が一丸となり、共通目標のもと創意工夫を凝らし積極的に取り組んでいただくことを要望します。

## 2 津堂・小山地区のまちづくりについて

**(1)八尾富田林線の整備について**  
**質問** 八尾富田林線の進捗状況をお聞かせください。

**答弁** 令和4年度第4四半期から南区で道路改良工事に着手し、また大和川堤防道路の八尾富田林線の交差点で、右折車線設置工事が行われ令和4年7月の完成に向けて進んでいます。

**要望** 今後も大阪府としっかりと連携を取り、令和9年3月の

供用開始に向け着実に進めていただくことを要望します。

## (2)津堂・小山地区まちづくり協議会について

**質問** 事業化検討パートナーとして戸田建設が選定されましたが、主な理由や提案内容についてお聞かせください。

**答弁** 物流施設を中心に、医療や健康促進ゾーンに連続して、公共公益・子育て支援ゾーンが配置され、地区のにぎわい創出が期待される点などで評価され選定にいたしました。

**要望** 今後も、本市として、まちづくり協議会をサポートし、未来に引き継ぐ良好なまちづくりを実現していただくよう要望します。

## 3 近隣自治体との広域連携について

**(1)世界遺産登録を契機とした羽曳野市との連携について**

**A. 来訪者獲得に向けての取り組みについて**

**質問** 古市古墳群として、羽曳野市との来訪者獲得に向けての取り組みをお聞かせください。

**答弁** 古市古墳群ポスターや世界遺産ロゴ入りマスク、事業者向けPRステッカーの作成を行い古市古墳群一体となったPR活動を行ってまいりました。

**要望** 今後も羽曳野市と連携を取り、来訪者獲得に向けた取り組みを要望します。

## I. 歴史遺産マラソン実施について

**質問** 羽曳野市と連携し、既存の市民マラソン大会をバージョンアップした形で開催できないものをお聞かせください。

**答弁** 両市が連携したマラソン大会が開催できるか情報共有を始めたところで、今後も調査・研究してまいります。

**要望** 今後も、大会開催に向けて、前向きに進めていただくことを要望します。

**質問** 歴史遺産を巡りながらのマラソン大会が実施できないものをお聞かせください。

**答弁** 歴史遺産を巡りながら定められたチェックポイントをクリアする「ロゲイニング」と、自分のライフスタイルに合わせて参加する「オンラインマラソン」を融合させたマラソン大会を模索していきたいと考えています。

**要望** そのような大会だったら歴史遺産を巡りながらのマラソン大会も可能だと考えますので、今後も羽曳野市と連携し、実施に向けて進めていただくことを要望します。

## (2)南河内地域での取り組みについて

**A. 道明寺駅へのJR乗り入れについて**

**質問** 道明寺駅へJR乗り入れが実現すれば、大阪主要の駅へのアクセスは格段にアップし、南大阪地域の広域的な周遊性を向上させる取り組みになると考えますが、進捗状況についてお聞かせください。

**答弁** 大阪府と鉄道事業者との意見交換会では、実現には地元自治体と連携し、観光振興などの誘客を増やす需要喚起の取り組みが、まずは重要とのことでした。

**質問** 道明寺駅への乗り入れについては、沿線市町村の共通課題として広域で取り組むべきだと思えますが、市長の考えをお聞かせください。

**答弁** 南河内エリアには、古市古墳群をはじめ歴史遺産や日本の原風景を感じる自然豊かなまちなみや残っており、観光需要の掘り起こしにポテンシャルを秘めたエリアであり、今後も大阪府や南河内の市町村と連携し、観光振興の活性化に取り組んでいきます。

**要望** 市長のマニフェストにも道明寺駅へのJR乗り入れ早期実現とありますので、今後は市長が旗振り役となり、しっかりと実現に向けて取り組んでい



改革ふじいでら

代表質問

山本 忠司

## 1 人口減少問題に対する取り



ただくことを要望します。

### (3) 近隣市との連携について

**ア・都市計画道路川北柏原線について**

**質問** 柏原市長が本市を訪られて、この川北柏原線について協議されたことですが、内容についてお聞かせください。

**答弁** 川北柏原線は、大阪環状線から東に延びる道路で、幅員16mの2車線で、川北地区を通り、柏原市域を経由して国道25号に接続する計画です。

**質問** この道路の南側には広い市街化調整区域が広がっており、今後の川北地区のまちづくりに重要な道路だと考えますが、市長の見解をお聞かせください。

**答弁** 本地域の骨格を形成する重要なネットワークとなる道路であり、川北地区の持つポテンシャルを発揮するために必要な道路であると考えております。

**要望** 川北柏原線については、八尾富田林線と同様に本市の経済発展につながる大きな事業だと考えますので今後も柏原市と連携協力しながら早期事業着手に向けた取り組みを要望します。

## 4 2025年大阪・関西万博開催に向けてについて

**質問** 全世界から大阪に2800

万人の方が訪れる国際博覧会になり、世界遺産のまちとして、そのチャンスをいかすべきだと思います。また万博のテーマが「いのち輝く未来社会をデザインする」ということから、健康・医療にフォーカスをあてられています。そこで本市の方針や考え方についてお聞かせください。

**答弁** 本市が進めてきた観光・にぎわい施策と健康増進を軸とした施策をすすめることで、万博を契機として、より活発化できると考えています。

**質問** 大阪・関西万博に対する市長の思いやお考えをお聞かせください。

**答弁** 今後の市政運営の方向としては、観光・健康・環境が中心と考えており現在アイセルシュラホールの観光拠点化なども進めています。また大阪・関西万博を契機としてこれまでの取り組みを更に盛り上げ、まちの住みやすさにつなげてまいります。

**要望** 本市の特徴である世界遺産や歴史遺産を活用し、にぎわい・観光と、また万博を契機とした健康を、この全国で5番目に小さいまちで市長のリーダーシップのもと世界に向けたチャレンジを進めていただくことを要望します。



公明党 代表質問 片山 敬子

## 1 地方創生臨時交付金活用について

**質問** 地方創生臨時交付金の内容についてと、どのような取り組みを考えているのかお聞かせください。

**答弁** 地方臨時交付金は交付限度額として2億2630万4千円示されており、国から示されました活用例を参考にしながらできるだけ早く、多くの市民や事業者を支援できるように準備を進めているところです。

**要望** 会派で市長、教育長に要望書を提出した、買って応援ふじいでら、給食費の無償化または補助、道路、運送業者への燃料購入費の支援、原材料高騰の事業主への支援もよろしくお願

いします。

## 2 災害対策について

**(1) 今後の自主防災について**  
**要望** 自主防災組織は災害時中

心的役割となります。組織の強化の点から防災士の養成、有資格者の方の自主防災への参画の体制作りをお願いします。

### (2) 大和川の浚渫について

**質問** もし本市の上空で線状降水帯が発生した場合には大和川の水位が急激に上昇し、甚大な被害が発生してしまう恐れがあります。以前から感じていることですが大和川の河川内に堆積している土砂が非常に多いと思

います。市の認識と対策についてお聞かせください。

**答弁** 最近の異常気象によります線状降水帯による大雨が降った場合水位が上昇するので引き続き国土交通省に河川の浚渫、樹木の伐採の要望を行ってまいります。

**要望** 国へ強く働きかけ浚渫工事の実施をお願いします。

### (3) 垂直避難について

**質問** 防災ガイドブックを全戸に配布していただきました。改正災害対策基本法が変わり避難勧告が廃止され避難指示に一本化されました、本市の垂直避難の認識についてお聞かせください。

**答弁** 災害リスクの少ない安全な場所へ立ち退き避難、浸水しない階がある場合には上層階にとどまる垂直避難が有効であります。今後広報紙やホームページ、SNSで周知していきます。

**要望** 防災ガイドブックで紹介されている垂直避難場所に加えてマンションの民間オーナーと協定をお願いします。また防災ガイドブックの説明動画配信もよろしくお願

いします。

## 3 住みよいまちづくりについて

### (1) 市民のデジタル活用について

**質問** 令和3年度に要望し初めたのスマホ教室を開催いただきました。令和4年度も開催いただけるのと感謝いたしました。そこで少しスマホを使えるようになった方への講座もあればと思いますがいかがですか。

**答弁** 市として少しスマホを使えるようになった方に向け、スマホ講座の実施やデジタルデバイス(情報格差)対策として様々な可能性を研究、検討してまいります。

**要望** 行政のデジタル化は行政サービス提供の手法にデジタル技術を取り入れ、選択肢を増やすことで市民の利便性の向上を図るものです。本市としてこれまでオンライン申請やキャッシュレス導入をされています。けれども苦手意識をもたれている方がいらっ

しゃいます。そこで先ほど要望しております少しスマ



ホを使えるようになった方に講座を通じてデジタル端末の使い方や学んでいただきオンラインサービスを選択できる人を増やすことで行政の効率化につながります。誰一人残さないデジタル環境の構築に全力をつくしていただくことを要望いたします。

#### 4 教育支援の充実について

##### (1) 教科担任制について

**質問** 本来小学校で学級担任の教員がほとんどの教科を教える学級担任制が変わりつつあります。教科ごとの担任教員が教える教科担任制が令和4年度から国で初めて導入が進められ小学校5、6年の一部授業で本格的に始められました。教科担任制では外国語や理科、算数など専門性の高い教科を中心に令和4年度950人増員されたようです。これにより2週1コマ程度担任以外の専科教員が教える体制が整つと言われています。専科教員は今後4年かけて3800人増やす計画とされておりますが本市における状況をお聞かせください。

**答弁** 4年間で3800人を全国規模で増員されたとしても本市に配置されるのは数人で、全ての学校に必要な数の配置は難しいと思われまます。

##### 要望 教科担任による授業は内容も充実しているようで児童から分かりやすく楽しいなど好評を博しているそうです。教員側のメリットも大きく、教員の働き方改革につながります。是非本市でも教員増加の支援をしていただき教科担任制の充実を図っていただくことを要望させていただきます。

##### (2) 熱中症対策について

##### 他の質問項目



公明党  
個人質問  
伊藤 政一

1 誰もが住みよいまちづくりについて

(1) 災害時の情報格差の解消について

A. 情報分野のバリアフリー化について

**質問** 情報のバリアフリー化を推進する新法が施行されました。本市の災害時での情報の発信方法をお聞かせください。

**答弁** 本市では緊急速報メールや防災無線と市ホームページなどで災害情報を発信しています。障がい者の方のみならず、すべての市民にどのような情報発信がより分かりやすい情報発信ができるか調査研究してまいります。

**要望** 情報のアクセシビリティ・

コミュニケーションの向上のため、具体的な制度が公表されましたら早急な対応をしていただき情報分野のバリアフリー化を進めるよう要望いたします。

##### 他の質問項目

I. 情報の地域格差の解消について



公明党  
個人質問  
玉田 日登美

1 女性のデジタル人材育成について

(1) 男女共同参画の視点から見る本市の現状について

(2) 女性のデジタル人材育成について

**質問** 政府はデジタル分野で活躍できる女性のデジタル人材育成プランを推進していく方針を決定しました。適切な支援があれば女性がもっと活躍できます。本市の認識はいかがでしょうか。

**答弁** 時間的・場所的な制約を受けにくいデジタル分野においてジェンダーギャップの解消に向けた取り組みを推進する重要性を認識しております。まずはデジタル企業と連携した研修を提供するなど女性のデジタルスキル習得の支援を行い女性のデジタル分野への参画促進を図つ

てまいりたいと思えます。

##### 要望 国からの地域女性活躍推進交付金も活用し、ITは苦手という先入観を払拭し気楽に学べる入口としてのパソコン教室の開催を要望します。



会派に属さない議員  
個人質問  
花崎 由貴子

1 地域コミュニティを活性化させるために

**質問** 市長のタウンミーティングで複数の地区から出された、衰退化が問題となっている地域コミュニティの活性化について、本市が行っている自治会加入促進の取り組みについてお聞かせください。

**答弁** 区長会と連携し、自治会の意義や必要性の啓発、デジタル化による自治会活動の負担軽減の情報提供などを通じ、加入促進に向け取り組みます。

**質問** 災害時には共助が重要ですが、地域防災についての取り組みをお聞かせください。

**答弁** 消防団活動の強化や自主

防災組織の結成促進に取り組み、自治会の加入を促進しています。

**質問** コミュニティスクールの進捗状況をお聞かせください。

**答弁** 説明会を行っています。

**質問** 市長の考えをお聞かせください。

**答弁** 違う形での自治会運営や防災、防犯や教育という場面で地域のつながりの重要性を認識しているため、課題の解決に向けて、市民の皆さんと取り組んでまいりたいと考えています。

**要望** 避難所運営に必要な女性防災リーダーの育成や学校現場においての親子防災ワークショップ、防災フェスタを行うなど人と人の関わりを意識し、知り合える機会を増やす事で個々のつながりをつくり、助け合うことができます。結果として、防災、防犯意識の高いまちになることは安心感を与える大切な市民サービスです。誰もが関心を持ち共助が重要である防災、防犯活動を手段として啓発活動を行い、様々なやり方で働きかけて、地域コミュニティを活性化させるために、積極的に取り組んでください。



# 令和4年第1回臨時会・第2回定例会議決結果一覧

議案番号・議案名		会派・議員名											結果			
		ふじいでら 改革		公明党			維新の会 大阪		政新クラブ	日本共産党		無会派				
		山本 忠司	畑謙 太郎	國下 尊央	片山 敬子	伊藤 政一	玉田 日登美	生田 達也	松木 洋介	河井 計実	麻野 真吾	岡本 光	木下 誇	瀬川 覚	花崎 由貴子	
第1回臨時会	報告第2号	専決処分の承認を求めることについて(市税条例の一部改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報告第3号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度藤井寺市一般会計補正予算(第15号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報告第4号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度藤井寺市一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第30号	藤井寺市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第31号	藤井寺市監査委員の選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
第2回定例会	報告第5号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度藤井寺市病院事業会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報告第6号	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度藤井寺市駐車場特別会計補正予算(第1号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報告第7号	令和3年度藤井寺市一般会計補正予算(第15号)に関する承認案件の訂正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	報告第11号	専決処分の承認を求めることについて(令和4年度藤井寺市一般会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第32号	市税条例等の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第33号	職員の修学部分休業に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第34号	藤井寺市介護保険条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第35号	藤井寺市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第36号	令和4年度藤井寺市一般会計補正予算(第4号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	原案可決
	議案第37号	令和4年度藤井寺市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第38号	令和4年度藤井寺市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第39号	令和4年度藤井寺市病院事業会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	議案第40号	令和4年度藤井寺市一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	諮問第1号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
議員提出議案第3号	議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の制定について	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	否決	

※表の見方 「○」は賛成 「×」は反対 「-」は地方自治法の規定により、採決不参加

## 報告案件など

第2回定例会	議案名
	令和3年度藤井寺市一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について
	令和3年度藤井寺市一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告について
	令和3年度藤井寺市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について
	公益財団法人藤井寺市地域サービス公社の経営状況の報告について
公益財団法人藤井寺市勤労者互助会の経営状況の報告について	

## 藤井寺市議会日程 第3回定例会のお知らせ

### 【本会議】

9月6日(火) 議案説明

9月14日(水) 一般質問

9月15日(木) 一般質問など

9月29日(木) 委員長報告など

### 【委員会】

9月21日(水)

民生文教常任委員会

9月22日(木)

総務建設常任委員会

※各日10時から開催します。

※日程は変更する場合があります。